

第2回 奈良の文房三宝展 「書くことの楽しさ」をアピール

2月14日（水）～2月18日（日）奈良県商工観光館の2階にある県民ギャラリーで県の主催の文房三宝展が開催された。

このイベントは長い歴史と先人の知恵がある文房四宝（墨、筆、紙、硯）のうち、奈良にゆかりのある三宝（墨、筆、紙）をめぐる奈良の匠の技と文化を紹介し、ペンやパソコンを使うことが多く、日本の伝統文化でありながら生活様式から遠ざかりつつある書道を再発見する機会となるよう企画展です。

コーナーが4つに分かれています。墨、筆、吉野の和紙、体験コーナー。

当フォーラムは体験コーナーを奈良女子大学書道部とともに運営しました。



体験コーナーの参加者はほぼ150人、昨年を上回りました。

ご出席いただき有難うございました。

体験コーナーは「書くことが楽しい」と「書とIT技術の融合」というコンセプトで構成しましたが、PR不足か、単なる書道展と勘違いなさってこられた方もありました。

展示された作品はTシャツ10点、陶印、書作品12点でしたが、「書くことが楽しい」「筆文字を生活に生かす」という視点で選ばれたものですので、書道展という形では物足りなく思われたようです。



さらに、45型ディスプレイに毛筆で「書くことは楽しい」のビデオを上映、パソコンを使って、自分が書いた書からオリジナルTシャツや書はがき等の制作の指導などを行い、コーナーを盛り上げた。